

竿燈交流会 ～特別支援学校のみなさんの妙技～

7月20日（木）、特別支援学校のみなさんが附属幼稚園の園庭で竿燈の演技を見せてくれました。

揃いの半纏にはちまきを締めて大きな竿燈と一緒に入場した生徒さんと先生たち。幼稚園の子どもたちが注目する中、2本の竿燈が力強く持ち上げられました。

この日、曇り空ではありましたが、見上げるようにそびえ立つ大きな竿燈は、迫力も満点。継ぎ竹で高さの増した竿燈を肩や腰で支える演技に、子どもたちは大喜び。手拍子と「どっこいしょ。どっこいしょ！」の元気なかけ声で、差し手のみなさんを応援しました。

後半は、“ふれあい竿燈”が行われ、太鼓や竿燈に挑戦しました。竿燈を持つ時に倒れないように支えてくれたり、太鼓の叩き方を教えてくれたりと、お兄さん、お姉さんたちがとても優しくかったので、幼稚園の子どもたちも安心して楽しむことができました。半纏やはちまきも着せてもらい、大満足の様子でした。

特別支援学校のみなさん、素敵な演技をありがとうございました。竿燈まつり本番でもがんばってくださいね！



重い竿燈を肩や腰でも支えます！
お兄さんたちの見事な演技に釘付けでした。



真剣な目！
難しいけど
楽しかったね！



あっ！
倒れちゃう！



思っていたよりも
重いなあ…



はんてん、
似合ってるね！